

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	希望の星		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 24	(回答者数)	23
○従業員評価実施期間	令和8年 3月 9日		令和8年 3月 31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【活動】 ・活動プログラムの内容が充実している。個々の成長を促し、楽しみを持って取り組める。発表する場があり、やりがい ・旬の食材を使う、地域の農家の方からの交流で作物をいただく機会 手作りおやつ	・個々の成長を促し、楽しみを持って取り組める内容。 ・発表する場があり、やりがいを感じられる。 ・手作りおやつは旬のものや体にやさしい食材を使っている。 ・活動の様子について、こまめにHPのブログで紹介している。 ・職員の得意なことを活動に生かしている。	・引き続き、子どもたちの意見を取り入れ、活動を計画しする。 ・新しい取り組みとして、バディーアート作りに参加する。 ・地域の農家の方々と交流を深め、作物の育ちに興味を持ち、食を大切に作る心を育てる。 ・五感を豊かにするために、自然に触れる体験を計画してく ・地域の警察署に交通安全指導を依頼する。
2	【様々な障害特性のある児童の受け入れ】 ・発達に特性のある児童、車椅子を利用する児童、医療的ケアが必要な児童等、幅広く受け入れを行っている。	・自立して移動できる児童は、車椅子を利用する児童と同じ空間の中で、遊び方や移動の際に、互いに工夫しながら共生し、配慮する力も養っている。 ・個室2室と共有の個室が使用でき、用途に応じて使い分けができる。活動室は机やソファを移動し、広く使用できる。	・他事業所の見学機会を設け、空間や設備の工夫を学ぶとともに、当事業所の利点についても改めて認識する。
3	【多職種連携・関係機関との連携】 ・児童指導員、保育士、理学療法士、看護職員が、それぞれの専門的な視点から意見交換を行うことができる。 ・支援会議に参加し、他事業所、学校、関係機関と情報共有を行っている。	・共通の目的を全員で共有し、できるだけ平易な言葉で説明すること、必要に応じて補足を加えることを心がけ、理解が深まるようにしている。 ・振り返りや朝の会を行い、課題への取り組みや支援に関する情報共有を行っている。 ・支援会議は児童発達支援管理責任者が参加する。 ・職員の年齢層が幅広く、お互いの価値観、それぞれの職種の視点を認め合い、幅広い知識が支援に生かされている。	・統一した支援が円滑に行われるよう、分かりやすい表現や写真を用いて支援マニュアルを作成する。また、既存のマニュアルの見直しも行っていく。 ・スキルアップのため、職員の研修機会を計画するとともに、自己研鑽のための研修参加を支援し、また学校公開にも積極的に参加する。
4	【地域交流・親子交流】 ・保護者からの要望を受け、親子交流会を開催している。きょうだい、地域の子どもの参加もあり、障がいのある無しに関わらず交流を深めている。 ・地域ボランティアの方を招き、手品、絵本読み、わらべうた等のイベントを通して交流を楽しんでいる。 ・鳥取県や米子市等が主催する様々なイベントに参加し、新しい体験の機会の提供を行っている。	・親子交流会を8月と3月に開催し、8月はとうもろこしのおやつ作り、3月はいちごでパフェ作りを行った。 ・共に生きるアート展、あいサポート・アートとっとり展に絵画と書道を出展した。 ・令和7年度脱炭素チャレンジカップ in 鳥取に「太陽光でおやつを作ろう」でエントリーし、奨励賞を受賞した。 ・様々な団体が主催する助成金募集に応募し、とうもろこし狩りやいちご狩りの参加費を確保した。	・日々保護者とコミュニケーションを図り、相談しやすい関係を築いていく。また、交流への参加を声掛けする。 ・作物の収穫体験の機会を設け、地域の農家の方との交流を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>【利用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用相談を受けるが、現在満員のため受け入れが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な児童、車椅子を利用している児童の受け入れをしている事業所が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員の空き状況の見通しを伝えるとともに、見学の受け入れを行う。 ・近隣の事業所の情報を共有する。
2	<p>【環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間の共通理解に基づく、活動室の空間利用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によって車椅子利用の児童が集中することがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動時に、児童同士の接触等が無いよう安全に気をつけて支援を行う。 ・他の放課後等デイサービスを見学する機会を設ける。